

1 概況

各地区の摘採は、冷蔵網では1～4回目、秋芽網では4～6回目を実施しています。栄養塩は概ね全域で減少傾向です。特に知多西岸及び知多東岸地区は栄養塩が少ない漁場が多く、知多東岸地区の一部では、網をあげ始めた漁場があります。西三河地区は、栄養塩の減少の割合が他地区よりも小さく、レベルは「やや多い～やや少ない」状況です。来週は週初めに降雨予測があり、まとまった降雨を期待したいところです。

九州地区を始め全国的な不漁等の影響により、ノリの単価は平年よりもかなり高い水準を維持しています。色落ちが進行した漁場もあるようですが、漁期の終わりまで全力で摘採しましょう。

2 気象・海況

<水温> 1月31日

<水温> 2月1日

<潮位偏差> 1月31日

2～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	7.7 °C	漁生研 (-1.0m)	10時水温	11.0 °C	名古屋港	日平均偏差	+3 cm
	平年差	+0.4 °C		平年差	+1.3 °C		5日平均偏差※	-2 cm

※1月27日～1月31日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北部:少ない、中部:やや少ない～少ない、南部:少ない	なし	植物プランクトンは散見～少ない
知多東岸地区	少ない	なし	植物プランクトンは散見
西三河地区	やや多い～やや少ない	なし	植物プランクトンは散見～少ない
東三河地区	本年度の調査終了		

※栄養塩基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い:121～、やや多い:81～120、やや少ない:41～80、少ない:～40

※植物プランクトン基準(単位:細胞/mL) 多い:10,000～、やや多い:5,000～10,000、少ない:1,000～5,000、散見:100～1,000、ほとんどいない:～100

<気温動向の予測> (気象庁週間天気予報より 予報期間:2月1日から2月7日まで)

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、期間を通じて高い日が多く、来週は特に気温の上昇が見込まれます。
-------	---

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病障害 その他
知多西岸地区	冷蔵:1～4回 一部秋芽:4～5回	300～1,200枚	色調は漁場により まちまち	一部に カモ	あかぐされは散見される 一部で後期冷蔵網に張りかえ
知多東岸地区	秋芽:5～6回 一部冷蔵:1回	600～1,000枚	色調の低下が 先週より進行	なし	色落ちが進行し、一部の漁場では網をあげ始めた模様
西三河地区	冷蔵:3回	600～1,000枚	概ね良好	なし	ごく一部であかぐされが散見される
東三河地区	秋芽:4回	800～1,000枚	色調低下傾向 一部でガサ	一部に カモ	荒天により、作業できない日が多い

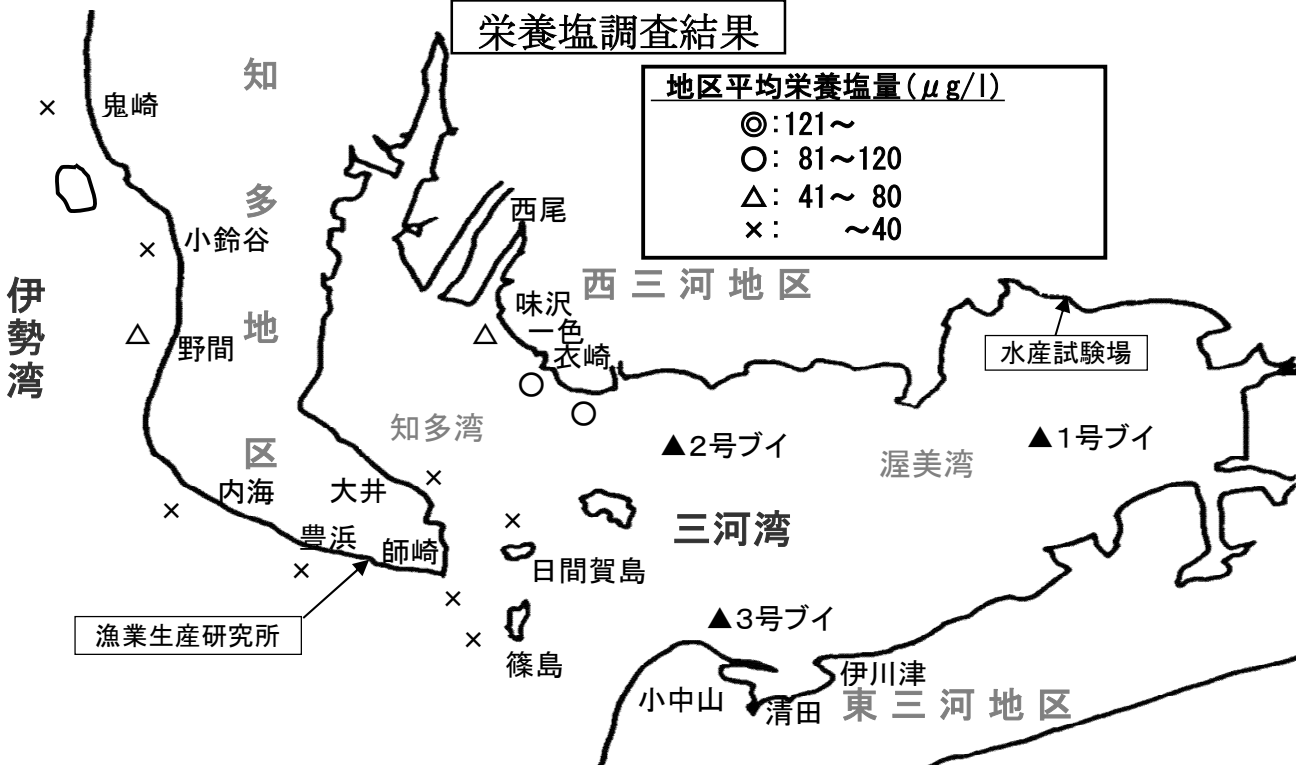
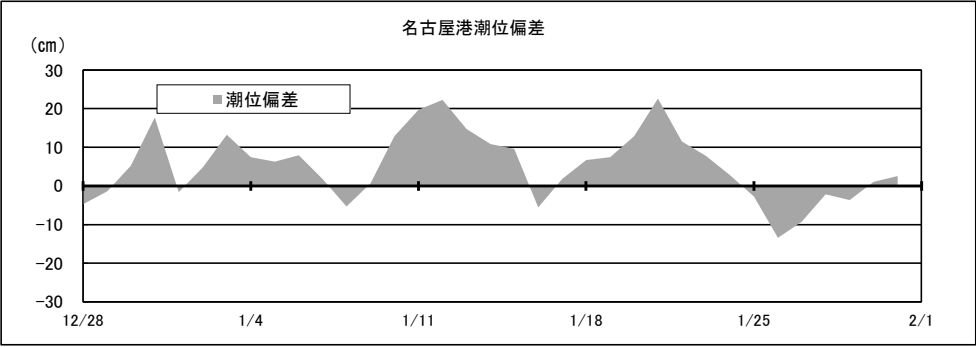
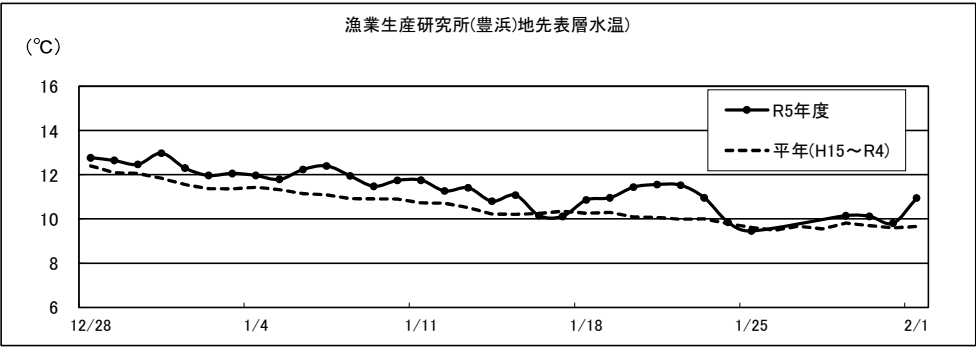
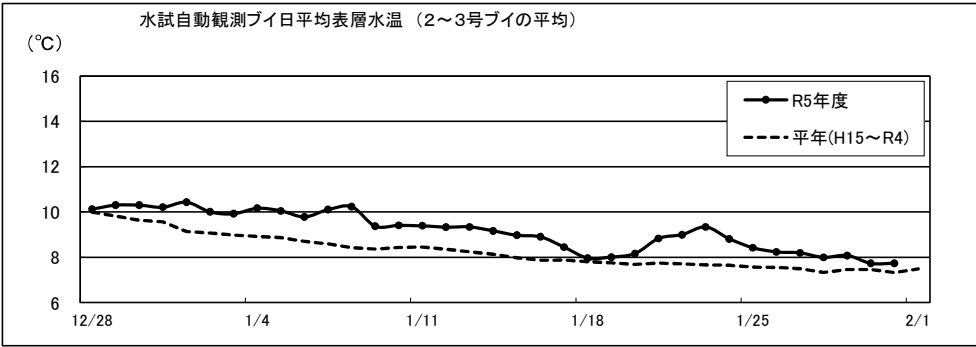
4 今後の管理

- 病障害等の予防のため、適正な干出と早期摘採を心がけ、製品の向上に努めること。
- 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。
水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
次回は2月8日(木)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査日：知多、西三河：2月1日（木）、東三河：調査終了
 調査機関：知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会